

# 地域づくりピクセス

問い合わせ  
地域づくり課  
☎内線 12553

## 富岡の子どもたちに届けよう「未来の教室」

▼センパイから聴く人生経験

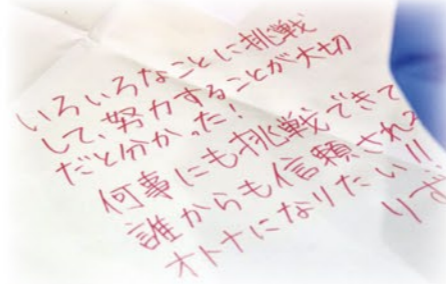


## 昨年度の様子

▼センパイと対話



▼自分の思いを自分の言葉で表現



若い世代の人口流出や地域住民同士の関係性の希薄化が課題となる中、市では、将来を担う中高生の人財育成に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、市内の中学生を対象とした人財育成プログラム「未来の教室」を実施します！  
本年度は、富岡中、東中、西中、妙義中の4校で開催します。プログラム当日の様子は、市ホームページなどで公開しますので、お楽しみに！



## 参加者の声



今の自分に足りないところや、いいと思うところをたくさん見つけることができました。

人にあまり話したことがないことが、センパイに話すことですっきりした。

センパイがうなずいてくれたり、意見を言ったりしてくれたので、考える範囲が広がり、自分に自信が持てた。

●未来の教室とは  
社会人、大学生、高校生など、中学生の少し先の未来を歩んでいる地域の「センパイ」たちと少人数のグループに分かれて対話をしたり、センパイたちが語る人生の経験談を聴いたりすることで、日常生活や将来について前向きに考えるきっかけをつくる授業です。また、当プログラムの通じて、中学生たちが、「じぶんの地元には、じぶんのことを応援してくれる人がいるんだ」ということに気付き、自分の地域について関心や愛着を持つようになることを目指しています。

高田・妙義地区	
日時	9月22日(土)、午前9時～午後2時 ※販売物がなくなり次第終了
場所	城町通り南広場 (富岡製糸場前通り)
内容	マイタケ、シイタケ、ジェラート、木工品、手工芸品、妙義焼きの販売など (予定)

## 今日の軽トラ市



## 富岡倉庫 6

## 市内の歴史的建造物

第19回

1棟(47坪余り)が完成し、併せて倉庫2棟・乾燥場2棟によって事業を続けました。

特筆したいことは、生繭を乾燥した上で預かるという方式を当初から採っていたことです。繭は上簇後10日余りで内部の蛹が羽化して蛾になってしまい、生糸にするのができません。これを防ぐために殺蛹し、且つかびが生えないように乾燥して保存する必要があったのです。富岡倉庫は乾燥場までを設けて事業展開したところに特殊性があったと言えます。

創業年度の上半期に預かった品物を見ると、繭・熨斗糸・玉繭・玄米・大豆・干血肥料・製茶・石灰・葉煙草・生糸・白米・干うどん・素麺・メ粕・ニシン・干イワシ・鯉節などさまざまな品物がありました。この実態は果たして創設目的に適っていたものであったかが問われます。

富岡倉庫の登記記録によると、商号を富岡倉庫株式会社といい、本店を富岡町1450番地に置き、資本金4万円(1株50円)で、営業目的は倉庫営業と倉庫賃貸営業として1900(明治33)年3月14日に設立。存立時期は満20カ年とあります。取締役は福沢常五郎(社長)、横山八百作、坂本治平、櫛淵浪太郎、畑吉五郎、監査役は畑菊次郎、茂木弥市などの富岡町の住民でした。株主は計61人で総株数は800株ですが、株主の中には南牧村・下仁田町・妙義町・丹生村などの人も含まれていました。この場所に位置付けたのは、既に上野鉄道が開通しており、富岡駅に隣接していたという適地だからと思われる。

設立時の当会社の主な施設・設備は、平屋土蔵1棟(80坪)・事務室1棟(34坪)・乾燥場1棟(25坪)でしたが、6月には煉瓦倉庫2階建1棟(72坪)と乾燥場

## フランス人ダミアンの新連載!

## Bonjour / ダミアン Vol.1

## 国際交流員コラム



ボンジュール!富岡市国際交流員を務めているフランス出身のダミアン・ロブションです。私は平成25年8月、市内小・中学校、高校で英語指導助手(ALT)として活躍している英語圏出身の青年たちと同じ「語学指導等を行う外国青年招致事業(通称「JETプログラム」)」の参加者として、富岡市初代国際交流員(CIR)に就任しました。

昨年30周年を迎えたJETプログラムは、外国青年を招致して地方自治体などで任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る世界最大規模の人的交流事業です。このプログラムに応募した平成25年度は、日本各地から7自治体がフランス人国際交流員を

募集していました。留学中の平成23年からJETプログラムへの参加を夢見ていた私は、富岡市のことを初めて知ったのはそのときでした。

